

多摩の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

● たまごで見られる ● よう虫で見られる



## ● オオカマキリ

- 卵しょうの大きさ：約4cm
- 場所：枝やフェンスなど

卵しょうは小さいなりにずしのような色と形をしています。せい虫は10cmくらいの大きいカマキリです。



## ● コカマキリ

- 卵しょうの大きさ：約3cm
- 場所：木のみき、かべなど

卵しょうは細長く、平たい形です。せい虫は6cmくらいで、前足の根元に赤、白、黒のものがあります。



## ● ハラビロカマキリ

- 卵しょうの大きさ：約3cm
- 場所：木のみき、かべなど

卵しょうは厚みがあり、真ん中に白っぽい線があります。せい虫はおなかが太く、はねに白い点があります。



## ● クヌギカメムシ

- 卵の大きさ：約0.2cm
- 場所：クヌギなどのみき

卵はゼリーで包まれていて、よう虫のエサになります。せい虫はしよっ角が長く、緑色の体に黒い点々があります。



## ○ ヨコヅナサシガメ

- よう虫の大きさ：約1.5cm
- 場所：サクラなどのみき

ストローのような口で他のこん虫の体液をすう、肉食のカメムシです。冬の間はよう虫が集まってすごします。



## ○ オオミノガ

- 巣(ミノ)の大きさ：約4cm
- 場所：木の枝など

枝や葉で巣を作るガのよう虫です。オスはせい虫になるとび立ちますが、メスははねがなく一生ミノですごします。

\* 卵しょう…卵をうむ時に出す泡がかたまったもの。



## ○ ゴマダラチョウ

- よう虫の大きさ：約3cm
- 場所：エノキの落ち葉のうら

体の両はしに2本ずつ突起があり、開いているほうが頭です。5月ごろに白と黒のまだらもようのチョウになります。



## ○ カブトムシ

- よう虫の大きさ：約8cm
- 場所：\*ふよう土の中

よう虫はふよう土を食べて育ち、12月にはサナギになる直前と同じくらいの大きさになります。

\* ふよう土…くさった落ち葉からできた土

## なぜ遠い北を目指すのか？～ウラナミシジミ～

ウラナミシジミは西日本の暖かい場所で通年見られるチョウですが、移動性が高く晩秋には東京の公園や、東北、北海道でも見られるようになります。しかし、移動した場所では冬を越せず死滅してしまいます。なぜ冬を越せない北へ移動するのでしょうか？



ウラナミシジミ

それは、気候変動等で元の生息地が住めなくなった時に、移動した先で繁殖し、絶滅を防ぐためという説があります。一見無謀に見える行動も、実は子孫を残していくための重要な戦略の1つだったのです。似た特性として、魚類の「死滅回遊」や植物の「狂い咲き」なども挙げられます。



● ナミアゲハ

- サナギの大きさ：約3.5cm
- 場所：ミカン科の木やその周り

夏のサナギは緑と茶色の2色ですが、冬のサナギは茶色が多です。上が2つに分かれ、背中に突起が1つあります。



● アオスジアゲハ

- サナギの大きさ：約3cm
- 場所：クスノキの葉やその周り

サナギは黄緑色で、黄色い線があります。せいでのはねには水色の帯があり、素早くとびまわります。



● イラガ

- マユの大きさ：約1cm
- 場所：サクラ、ウメの枝など

サナギが入ったマユは硬く、表のもようは1つ1つちがいます。よう虫は7~10月に見られ、鋭いトゲに毒があります。



● クロスジフユエダシャク

- 体の大きさ：約2cm
- 場所：木のみみや林の中

12月ごろに見られるがで、昼に活動します。林をとびまわっているのはオスで、メスははねがないのでとべません。



● ウラギンシジミ

- 体の大きさ：約2cm
- 場所：ツバキの葉のうらなど

はねは外がわが銀色で、内がわは茶色く、オスはオレンジ色、メスは白のもようがあります。



● クビキリギス

- 体の大きさ：約6cm
- 場所：ススキの根元など

口べにをぬったようなオレンジ色の口が特徴で、草の実などを食べます。春になると、「ジー」と高い声でなきます。



● ツチイナゴ

- 体の大きさ：5~7cm
- 場所：かれ草のしげみなど

顔に涙のようなもようがあり、頭からはねの先までうすい黄色の線があります。冬は日当たりの良い場所で見られます。



● ウバタマムシ

- 体の大きさ：約4cm
- 場所：かれたマツの木など

地味な色ですが、体はかがやき、目の中に金色の小さなつぶがあります。冬でも見られることがあります。



● エサキモンキツノカメムシ

- 体の大きさ：約1.5cm
- 場所：かれ葉の下など

背中に黄色いハートマークがあるカメムシ。メスは春に卵を産むと、卵の上にかぶさってアリなどの敵から守ります。



● ナミテントウ

- 体の大きさ：0.5~0.8cm
- 場所：木のくぼみなど

一番よく見るテントウムシで、もようの種類はたくさんあります。風の当たらない場所に集まって冬をこします。